

新潟県中越地震の災害調査報告（概要）に付随した写真資料

2004年10月28日調査 公文富士夫，大塚 努（信州大学理学部）



図1 道路の土盛部分が谷側にずれて生じた舗装の割れ目．このタイプの道路の損傷は非常に多い．十日町池ノ平 新座八箇線（県道 559 号線）



図2 道路の盛り土部分の割れ目．最近の工事によって集落を迂回する形で盛り土をして道路を建設したようだが，その部分の損傷が大きい．一方，集落を通る旧道は無事．十日町落之水．新座八箇線（県道 559 号線）



図3 十日町落之水の墓石の状態．比較的新しい墓石であるためか，15分の2基の転倒である．



図4 転倒した墓石．十日町落之水



図5 小規模な地滑りを起こした水田．十日町菅沼付近．新座八箇線（県道 559 号線）沿い．



図6 道路沿いの表層滑りによる崩落．十日町菅沼付近．新座八箇線（県道 559 号線）

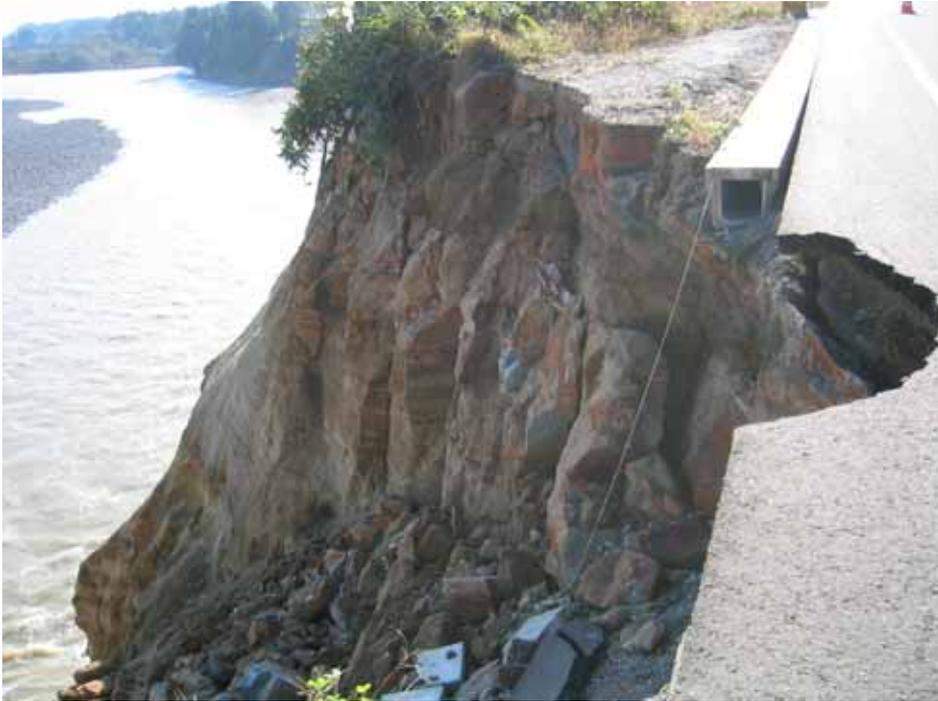


図7 信濃川沿いの県道49号線（小千谷十日町津南線）の路肩の崩壊．小千谷市中山．直下を信濃川が流れ，その側方侵食による岩盤の弱化も一因か．



図8 小千谷市真皿 県道196号線（川口岩沢線）にみられた大規模崩壊．



図9 小千谷市池ヶ原における下水の抜け上がり．平坦部と丘陵部との境界部で不等沈下とひび割れの被害が大きい．



図10 丘陵部と平坦部との境界近くにある民家の玄関．家屋の出入り口の被害が大きい．この池ヶ原地区では少なくとも平坦部の中央付近にある1戸が全壊（取り壊し済みであった）、1戸が半壊状態．小学校もその近くにある．地区の住民は大きな3つのビニールハウスで共同生活を送っていた．